様式1

令和6年度　山梨県立中央高等学校　通信制　評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	Chuoハーモニックプランに基づき、自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをする

山梨県立中央高等学校校長　中込　一成

本年度の重点目標	
	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。
	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。
	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。

達成度		
	A	ほぼ達成できた。（8割以上）
	B	概ね達成できた。（6割以上）
	C	不十分である。（4割以上）
	D	達成できなかった。（4割以下）

評価		
	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自　己　評　価

本年度の重点目標				年度末評価（2月6日現在）		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人づくりをする。 ※学校評価アンケート 〈生徒用〉質問No5 〈保護者用〉 質問No2，7 〈教職員用〉質問No25 ※授業アンケート 質問No7	「わかる」「楽しい」から「もっと学びたい」授業への改善。「認める」「引き出す」「まとめる」「協働する」授業を実現し、教師がファシリテーター（発言を促し、結論へ導く）としての技術を高める。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書	・生徒による「学校評価アンケート」では「多くの先生方はわかりやすい授業をしてくれる」は94．6%だが、保護者の評価アンケートでは「生徒は授業がわかりやすいと言っている」が77．1%と乖離があることが課題である。しかし「学校での活動を通して、生徒の成長を感じる」は84．3%で、概ね良いと評価できる。 また生徒の「授業アンケート」結果では「家庭学習と授業を有機的に結び付けることができた」が88．5%と先生方が個々に合わせた最適な授業に取り組んでいることが伺える。 ・教員の評価アンケートでは「レポートに関わる指導工夫の改善」が100%と高く、自己観察書に記載された授業への取り組みも肯定的なものが大半を占めており改善が進んでいる。	B	アンケートの結果は、年次が進むにつれ、また同年度の中でも中間より年度末の方が評価が高く良い傾向である。かつては生徒・保護者と郵送によりアンケートを回収していたため回答数が少なかったが、令和5年度からfomsでその場で回答させたため倍増した。しかし年度末に登校している生徒は比較的優秀で、通信制では模範的生徒のため、全在籍生の標準的な調査にはなっていないことが課題である。今後も学習内容を生徒、保護者や社会に求められるものにしていくよう工夫し続けていきたい。 ICTを活用した教育実践においては、通信制はBYOD対象外だが徐々にTeams等の普及率、利用率が上昇している。科目によってはチャットでレポート提出や授業動画の配信などに積極的に取り組んでいる。
		面接指導や添削指導において、生徒自身に考えさせる問題に対してさらに丁寧な指導を行い、本質的な問いかけによって、生徒が自己の生き方在り方を深めていく。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 授業アンケート 成績概況 教職員の自己観察書			
		MS-Teamsによる連絡や、メディア視聴による出席代替など、ICTを活用した教育実践を推進する。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 授業アンケート 教職員の自己観察書			
2	社会性を身につけ、自立と自律を目指す人づくりをする。 ※学校評価アンケート 〈生徒用〉質問No1，12，14 〈保護者用〉 質問No1，2，9	ハーモニックプランの各要素（自らを尊ぶ、基本的な生活習慣、規範意識、コミュニケーション能力、チームワーク、シンキング、アクション）を意識した教育活動を行っていく。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 教職員の自己観察書	・生徒による「学校評価アンケート」では「学校は全ての教育活動において、一人一人の生徒を大切にする姿勢で指導にあたっている。」が95．9%、「学園祭は、生徒の交流や発表の場となっている」が94．6%、「環境美化や清掃活動が積極的に行われている」91．9%と社会性や自立、自律の精神は醸成されていることが伺える。 ・保護者による評価アンケートの結果では「生徒一人一人の理解を深め、生徒の自主性、自立性を高めるような生徒指導がなされている」が74．3%とやや低い。しかし「学校での活動を通して、生徒が前向きに取り組んでいる」では84．3%、「自らを尊び、社会性を育むなどの教育理念を明らかにしている」が82．9%と比較的高評価であった。	B	通信制は定時制以上に対人関係や社会性に不安を持つ生徒が多い。しかし、与えられた授業時間を過ごすだけではなく、自ら学習計画を立てて自主的に取り組まなければならない点で一層の「自律」を促す必要があることが課題である。 対策の一つとして令和6年度から2年周期で進路探究と自己探求の学校設定科目を開講した。卒業までに両講座を複数回受講することでキャリア教育を進めることができる。また、申請型SC,SSWを活用した個別の面談を継続して生徒の社会性の醸成に取り組んだ。 進路決定に関しては、各生徒・保護者の要望や必要性に合わせ、丁寧かつ早めに指導していくことが必要だが、進路係と担任との一層の連携が課題である。
		自己理解から進路実現までを意識した系統的なキャリア教育を行っていく。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 教職員の自己観察書			
		社会的・職業的自立ができるよう、進路係と担任が連携を密にしながら生徒ひとりひとりとの懇談を大切にし、適切なアドバイスをする。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 教職員の自己観察書			
3	自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人づくりをする。 ※学校評価アンケート 〈生徒用〉質問No3，11，15 〈教職員用〉質問No8	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した校内連携（チーム支援）を促進し生徒指導・支援体制の充実を図り、生徒の生活を支え、自他を尊ぶ心を育む。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 生徒指導支援資料 教職員の自己観察書	・生徒による「学校評価アンケート」では「自分の在り方、生き方や道徳についてを考える機会があり、自分にとって役に立つと思う」89．2%、「学校は、いじめのない学校を目指し、適切な対応をしている」91．2%、「講演会・インターンシップ・課外講座・進路情報の提供など、体系的なキャリア教育が企画・実践されている。」87．8%と高評価であった。 ・教職員の評価アンケートでは、「体験、課題解決学習などを取り入れて、生徒が自ら学び、考える力を育成している」81．3%と概ね良い評価であり、自らや他者、地域を尊ぶ意識は醸成されていると思われる。	A	学校行事等を更に生徒がより自主的に運営するように仕向けることが課題で、それらを通じて、他者との関係づくりの機会となるようにしていきたい。 教職員の健康管理については、お互いの業務の連携や情報共有に努めて円滑なコミュニケーションを維持することや、年間を通じて効果的な有給休暇を取得することを推奨し、職場内で発生すると思われるストレスの軽減に努めた。今後もお互いが気持ちよく、働き甲斐のある職場環境を作れるよう意識し続けることが課題である。
		学校行事等において、自主的に人との関わりを大切にするとともに、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育む。	学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員） 教職員の自己観察書			
		働き方改革を行う中で、教職員が自らの職務と向き合い、他者を尊重しつつ支援し合う意識と地域を愛する意識をもつよう心掛ける。	時間外勤務表 学校評価アンケート（教職員） 教職員の自己観察書			

学校関係者評価

実施日　（令和7年2月21日）

評価	意見・要望等
4	・「わかる」，「楽しい」，「もっと学びたい」授業を作ることは，言うのは簡単ですが，実際は最も難しいテーマだと思います。先生方の不断の努力や意欲に敬意を表し，これからも教材研究に取り組んでいただきたいと思います。 ・先生方が授業改善に積極的に取り組み、生徒からの評価も高いことは喜ばしいことです。昨今は通信制の人気が高まり、特に私立通信制への進学希望者が急増、公立は微増、とのことですが、公立の通信制をどのようにしていくかは中央高校に課された大きな使命でもあります。いろいろトライアルして魅力ある通信制にしていって欲しいと思います。そしてその魅力をもっともっと中学生に広報していってください。 ・職員の努力が伺えます。生徒と保護者のアンケート結果の差について解明と改善、ICT機器を利用した活動が進むことを今後も期待します。
3	・社会的・職業的な自立に向けて，コミュニケーション育成やキャリア教育など，多角的に取り組んでいることがわかりました。山梨県内の若者を大切にする企業とのつながりが促進されることを期待します。 ・通信制では、制度上どうしても生徒同士の関わり合いの場面が少なくなってしまうこともあり、社会性を育てていくことは難しくなっていると思います。その意味でもスクーリングの活用が重要になってきます。スクーリングの中で何ができるのか検討を重ねて欲しいです。 ・保護者アンケートの結果はやや低いものがありますが、生徒の評価が高いのでまずまずの結果ではないでしょうか。課題解決に向けたご尽力をお願いいたします。
4	・さまざまな事情を抱えている生徒に対して，一人ひとりていねいに関わっている様子が想像されました。通信制の中で，自分の在り方や生き方，道徳性などを育むことは大変かと思います。先生方の真摯な姿勢に敬意を表したいと思います。 ・中央高校ではSCやSSWの活用が、他校に比べ積極的に行われています。ただ、生徒がSCやSSWについてどれくらい知っているかが心配です。生徒への周知と気軽に相談できる体制作りをお願いします。 ・アンケート結果は80%を越えており、90%前後のものもあります。目標に掲げてある「人づくり」に向けて更なる前進を期待いたします。大変お疲れ様でございます。

留意点　（1）重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
（2）学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。